

# 最新医療 岡崎市民病院

～医療の現場から～

第2回

## がん地域連携バスの活用

岡崎市民病院は、平成28年4月にがん診療を行う拠点として「愛知県がん診療拠点病院」の指定を受け、この地域のがん医療水準向上のための体制作りを進めています。その取り組みの一つとして、診療所などと協力して行う「がん地域連携バス」を活用した診療があります。

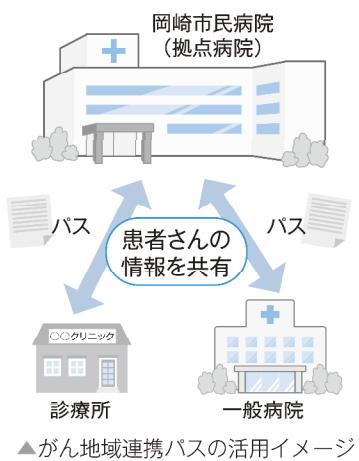
がん地域連携バスとは、手術前後の治療や経過観察などの際に、患者さんが安心して受診できるよう開発された「診療計画表」です。これを活用することで、かかりつけの医師と市民病院の担当医師との間で診療経過の共有や情報交換を行うことができ、患者さんはより適切な医療を受けられます。さらに記載されている症状や検査結果などの情報をもとに、かかりつけ医師は日常の診療、相談、薬の処方を行います。症状の変化や検査結果に異常がある場合には、市民病院医師が専門的な治療を行う際は、「かかりつけ医」の紹介状をお持ちください。

岡崎市民病院 外科 鈴木 祐一

治療を担当します。

また、患者さん自身も、病状とバスの内容から治療の目標を理解することができます。かかりつけ医師のもとで手厚い診療を受けることが可能となります。更に、通院時間や診療の待ち時間の短縮など、患者さんの負担が少なくなるメリットもあります。

市民病院では、このバスを活用した治療を前立腺がん、乳がんで行っていますが、5月からは抗がん剤治療を行わない胃がん、大腸がん、肝臓がんの患者さんにも活用の幅を広げています。



## 女性活躍支援

本格的な少子高齢社会を迎え、就労人口の減少が懸念される中、一昨年に女性の職業生活における活躍の推進に関する法律が成立しました。本市においても約1700人の女性職員が行政サービス、看護、保育と様々な分野で活躍をしています。

岡崎らしさを次の新しい時代へ継承するためには、更なる女性の活躍が重要になってしまいます。そのため本市では、女性が職業生活においてその能力を十分に發揮し、活躍できる環境づくりを進めています。

今年度新たな事業として、子育て世代の就労を支援している「あいちマザーズハローワーク」との共催により、女性が気軽に集え、個別相談ができる「マザーズ・リビング・job cafe」を開催します（12ページ参照）。また、職場見学ツアーや託児付き就労相談会など就業意欲のある女性に対し、様々な側面から支援する取り組みを進めてまいります。

こうした就労支援に加え、女性が働きながら安心して子育てや介護のできる環境整備を更に進め、仕事と家庭の両立を可能とする働き方改革の推進に取り組んでいきます。

## OKAZAKI DATA おかざきデータ

### 5月1日現在の 岡崎市的人口

男	195,084人	+83人
女	190,020人	+71人
計	385,104人	+154人
世帯数	158,225世帯	+289世帯

### 4月末現在の 交通事故状況

	人身事故 件数	死傷者		
		死者	負傷者	合計
平成29年	655件	3人	744人	747人
平成28年	679件	3人	754人	757人
比較	-24件	±0人	-10人	-10人

※死者数は事故発生から24時間以内に死亡した人です。

### 4月末現在の 岡崎市内の 犯罪発生状況

	刑法犯 総数	うち窃盗犯		
		侵入盗	乗物盗	非侵入盗
平成29年	645件	44件	129件	277件
平成28年	907件	83件	194件	357件
比較	-262件	-39件	-65件	-80件

#### 岡崎警察署（☎58・0110）からのお願い

これから夏に向かって、暑さから窓を開けて夜を過ごす家庭が増えます。家人が寝静まつた住宅に侵入し、金品を盗む「忍び込み」対策としてカギかけを徹底しましょう。



夢ある新しい  
おかざき  
Dream Okazaki

岡崎市長  
内田 康宏

市政だより OKAZAKI 2017年(平成29年)6月1日